




ITと愛があるマネジメント
「アイマネ」

大反響第3期！

リーダーになったら！マネージャーになるなら！

「ファクトベースで学ぶ ITマネジメント力アップ」 集中コース

◆ITマネジメントにおいて重要な項目を「ユーザー1000社のIT動向」というファクトをベースに、「ユーザー自らが語る事例」「簡単なワークショップ（ラップアップ）」で一通り学ぶコースです。
◆IT部門の次世代リーダーの方に最適のコースです。

2015年9月より全5回＋フォローアップ

'15年9月29日(火)	10月21日(水)	11月12日(木)	12月2日(水)	'16年1月21日(木)	3月10日(木)
第1回 ITマネジメント	第2回 IT投資	第3回 IT推進組織と IT人材	第4回 システム運用 ・IT基盤	第5回 システム構築 ～経営戦略の 実現～	フォローアップ セキュリティ動向 総合ラップアップ

NEW

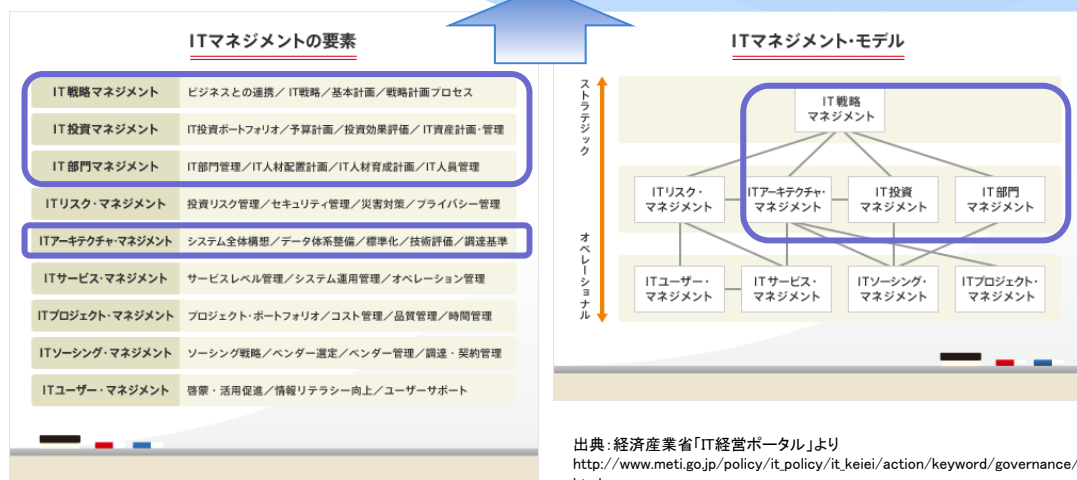
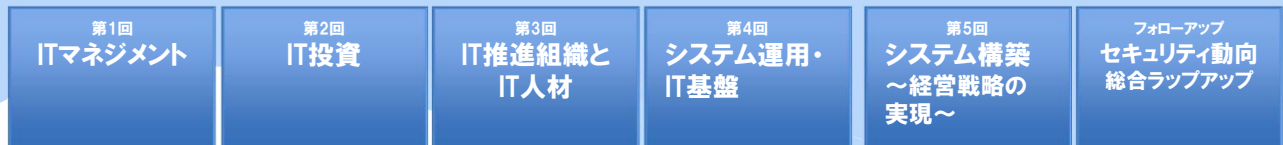
- 対象： IT部門の次世代リーダーの方
- 会場： 一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 会議室(東京日本橋)
- 参加費： 5回コース受講(限定25席)：JUAS会員/ITC：142,560円 一般：178,200円
スポット受講(12席)：JUAS会員/ITC：22,000円 一般：28,080円(いずれも1回あたり)
- 定員： 各回37名(コース25名・スポット12名)
- お申込： <https://www.juaseminar.jp/seminars/view/4115127>
- お問合せ： 一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 研修事業担当：各務
TEL:03-3249-4102 MAIL:seminar@juas.or.jp



一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会
Japan Users Association of Information Systems

◆本コースの目的◆

リーダーになったら、マネージャーになるなら、必須の素養であるITマネジメントの要素のうち今特に関心の高い5項目について学びます。



◆カリキュラムの4つの特徴◆

企業の取組み状況／トレンドを定量的に知る

ユーザー企業約1000社の回答からまとめたIT動向・取組状況を定量的に確認する。自社の立ち位置をベンチマークする。

型としての具体例を学ぶ！ ユーザー自ら語る事例

当該テーマに着手する際のポイントや留意点、心構えを事例から実感する。

将来のアクションにつなげる！ ワークショップ(ラップアップ)

簡単なワークショップ(ラップアップ)を行い、各テーマの実践に向けたマインドを醸成・体得。

他社の同じ立場の方との交流会

同じ立場の方との他流試合・仲間作り！

◆選べる受講形態◆

◇コース受講：5回＋フォローアップ通し受講(代理出席可)、特典あり

特典①各回ワークショップ(必須)

特典②交流会(3回・任意)の受講

特典③2015年4月発売「企業IT動向調査2015」(定価¥14,200)をプレゼント

◇スポット受講：参加したいテーマのみ受講

カリキュラム概要

※内容は諸般の事情により変更となる場合があります。

	'15年9月29日(火)	10月21日(水)	11月12日(木)	12月2日(水)	'16年1月21日(木)	3月10日(木)
	第1回 ITマネジメント	第2回 IT投資	第3回 IT推進組織とIT人材	第4回 システム運用 ・IT基盤	第5回 システム構築 ～経営戦略の実現	フォローアップ ・セキュリティ動向 総合ラップアップ
13:00 - 14:05	「開講式」 基調講演 「これまで、そしてこれからのITマネジメントとは」 (株)アイ・ティ・アール 代表取締役 プリンシパル・アナリスト 内山 悟志氏	「ユーザー企業1000社のIT動向の今」本テーマについて、企業IT動向調査2015から現状と動向をご紹介します	「ユーザー企業1000社のIT動向の今」本テーマについて、企業IT動向調査2015から現状と動向をご紹介します	「ユーザー企業1000社のIT動向の今」本テーマについて、企業IT動向調査2015から現状と動向をご紹介します	「ユーザー企業1000社のIT動向の今」本テーマについて、企業IT動向調査2015から現状と動向をご紹介します	
14:10 - 15:10 (QA10分含)	ユーザー事例(1) 「ビジネスプロセスを競争力の源泉に！東京海上日動における「攻めのIT戦略」」 東京海上日動火災保険(株) IT企画部 部長 三宅 晃氏	ユーザー事例(1) 「投資前に効果宣言！ビジネスへの効果をとことん考えるIT投資の決定・評価のしくみ」 (株)日本情報システム 執行役員／調達管理部長 伊藤 誠氏	ユーザー事例(1) 「ANAにおける業務プロセス改革の推進」 全日本空輸(株) 業務プロセス改革室 企画推進部長 河野 一郎氏	ユーザー事例(1) 「さらなるシナジー創出を目指して～グローバル標準IT基盤の構築」 (株)三菱ケミカル ホールディングス 情報システム室長 板野 則弘氏	ユーザー事例(1) 「「物流の改革」を実現せよ 宅急便の進化を支えるIT戦略」 ヤマト運輸(株) 情報システム部長 田中 從雅氏	「ユーザー企業1000社のIT動向の今」セキュリティについて、企業IT動向調査2015から現状と動向をご紹介します
15:20 - 16:20 (QA10分含)	ユーザー事例(2) 「新市場創出のエンジンとなれ！ビジネスを支えるグローバルクラウド基盤構築」 (株)リコー 執行役員 経営革新本部 本部長 石野 普之氏	ユーザー事例(2) 「新市場創出のエンジンとなれ！ビジネスを支えるグローバルクラウド基盤構築」 アサヒグループホールディングス(株) IT部門 セネラルマネジャー 知久 龍人氏	ユーザー事例(2) 「激変するIT環境下、今求められるIT人材像とは？～「匠」から「プロデューサー」へ」 三井住友カード(株) 常務執行役員 森 陽一氏	ユーザー事例(2) 「「仮」運用付加価値向上がもたらすビジネス貢献」 損保ジャパン日本興亜システムズ(株) 井場 隆史氏	ユーザー事例(2) 「ビジネス価値創造の追求～日産におけるグローバルIS/IT戦略、これまでと今後～」 日産自動車(株) グローバル情報システム本部 理事 能丸 実氏	「ユーザー企業1000社のIT動向の今」セキュリティについて、企業IT動向調査2015から現状と動向をご紹介します
16:30 - 18:30	ワークショップ(自己紹介／ラップアップ) ファシリテーター： 日本情報システム・ユーザー協会	ワークショップ(ラップアップ) 「IT投資」 ファシリテーター： 日本情報システム・ユーザー協会	ワークショップ(ラップアップ) 「IT推進組織とIT人材」 ファシリテーター： 日本情報システム・ユーザー協会	ワークショップ(ラップアップ) 「システム運用・IT基盤」 ファシリテーター： 日本情報システム・ユーザー協会	ワークショップ(ラップアップ) 「システム構築」 ファシリテーター： 日本情報システム・ユーザー協会	ワークショップ(ラップアップ) ～私が今後取り組みたいITマネジメント～
18:30 - 20:00	交流会				交流会	交流会



✓5回コース受講：5回＋フォローアップについて、すべての時間を通してご受講いただく受講形態です。

受講対象
セッション
☐ ☐

✓スポット受講：各回をバラでご受講いただく受講形態です。
ワークショップ・交流会はご参加対象外です。

受講対象
セッション
☐

第1回「ITマネジメント」

■ 開校式

■ 基調講演

基調講演

「これまで、そしてこれからのITマネジメントとは」

講師：(株)アイ・ティ・アール 代表取締役／プリンシパル・アナリスト 内山 悟志氏

ITマネジメント概観



●講演概要

ITの重要度が増し、業務やビジネスに対してより積極的な参画が求められている今、ITマネジメントが益々重要になってきています。ユーザー企業において、経営に寄与するITとは何か。ビジネス戦略とIT戦略、そしてITマネジメントとはどのような関係にあり、ITマネジメントがうまくいくと何が嬉しいのか。その要素とは何なのか。企業におけるIT関連業務の全容を把握するとともに、非常に幅広い概念である「ITマネジメント」をわかりやすく整理してご紹介いただきます。

●講師略歴

大手外資系企業の情報システム部門、データクエスト・ジャパン株式会社のシニア・アナリストを経て、1994年、情報技術研究所(現ITR)を設立し代表取締役に就任。ガートナーグループ・ジャパン・リサーチ・センター代表を兼務する。現在は、IT戦略、IT投資、IT組織運営などの分野を専門とするアナリストとして活動。近著『名前だけのITコンサルなんていない』(翔泳社) 『日本版SOX法 IT統制実践法』(SRC) その他寄稿記事、講演など多数。

■ ユーザー事例セッション

Session 1

「ビジネスプロセスを競争力の源泉に！東京海上日動における「攻めのIT戦略」」

講師：東京海上日動火災保険(株) IT企画部 部長 三宅 晃氏

攻めのIT戦略



●講演概要

東京海上日動社では、中期経営計画にて、「IT基盤の高度活用等により顧客接点を強化し、業界NO.1の成長を持続する」ことを表明し、ITを活用したシンプルで効率の良いビジネスプロセス、業務品質の向上、お客様接点の強化、時間場所に制約されない多様な働き方の実現を進めています。これら経営計画実現に向けた「攻めのIT戦略」の全体像と推進にあたって苦労した点、「攻めのIT戦略」を実現するための、社内体制およびIT人材の育成、事後評価の仕組み(PDCA)、基盤的取り組みなどについて、「攻めのIT戦略」を推進してきたご自身の経験を交えて取り組みをご紹介いただきます。

●講師略歴

1984年東京海上火災保険(株)入社(現：東京海上日動火災保険(株))。以後一貫してIT部門に在籍、基幹系システムの開発を振り出しに、ITを活用した業務革新プロジェクトに数多く参画。趣味は元々スポーツ全般だが、今はもっぱらゴルフと社内外老若男女幅広い友人と飲みに行くこと。

Session 2

「新市場創出のエンジンとなれ！ビジネスを支えるグローバルクラウド基盤構築」

講師：(株)リコー 執行役員 経営革新本部 本部長 石野 普之氏

コアビジネスを支えるIT



●講演概要

戦略実現にはどのようなシステムが必要か。経営とITとの関係づくりや効果刈り取りの考え方、システム構想から実現方法の選択、ゴール設定など、戦略をシステムへ落とし込み、いかに周囲を1つの目標へと導けばよいのか。「グループ共通ITインフラ(※)」をはじめ、リコーの企業戦略を受けた経営に効く数々のシステム構想をマネジメントしてこられた数々のご経験を交えて事例をオムニバス風にご紹介頂きます。

(※)リコーでは事務機器とクラウドサービスの併売による新市場開拓を掲げ、2013年度に新事業で2000億円以上の売上増を目指す。それを支える核としてクラウド基盤「グループ共通ITインフラ」を構築。IT部門が社内ベンダーとして、基盤上で動作する一般顧客向けクラウドサービスを13年から提供。経営戦略の実現基盤として新サービス投入までの期間を最大1/4に短縮する仕掛けや、グローバルでのITガバナンス強化の仕掛けを織り込む。

●講師略歴

1984年リコー入社。84-99年にかけて主に複写機的设计支援システム企画、開発、ネットワーク設計、情報共有環境の構築に従事。00-08年には米州統括販社にてリージョンのITガバナンス責任者、基幹システム構築、構造改革プロジェクト等のプロジェクトリーダーを担当。併せてM&A、買収後の会社統合などにITから参画。09年帰国後グローバル・リコーのIT戦略立案、展開、ITガバナンス、ISMS、クラウド共通インフラ等を担当。14年4月より経営革新本部 副本部長 理事、15年4月より現職。

第2回「IT投資」

■ ユーザー企業動向の一例～「企業IT動向調査2015」より

＜IT部門がIT投資で解決したい中期的な経営課題＞

「迅速な業績把握、情報把握(リアルタイム経営)」と「業務プロセスの効率化(省力化、業務コスト削減)」がIT投資の二本柱

IT投資で解決したい中期的な経営課題(1～3位)

・累計では「業務プロセスの効率化」(49.4%)と、続く「迅速な業績把握、情報把握(リアルタイム経営)」(39.2%)が圧倒的に高い。その次は「営業力の強化」(25.6%)、「業務プロセスの質・精度の向上」(23.3%)が続いている。

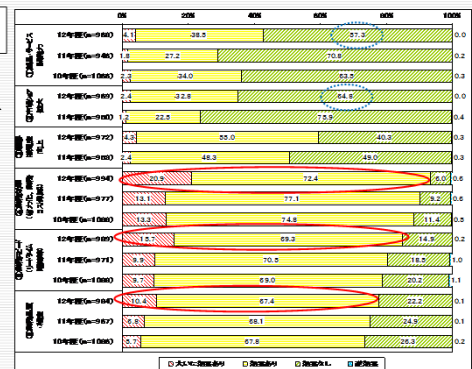
・BCP(事業継続計画)の見直しは、3位の回答率が高い(11.8%)。東日本大震災後、継続課題と位置づけられていると考えられる。



「業務効率」「業務スピード」「業務品質・精度」についてはIT投資の「効果あり」としている企業が8～9割。一方で「製品・サービス開発力」「市場シェア拡大」についてはIT投資の「効果なし」としている企業が6～7割

年度別IT投資効果の状況

・業務プロセスの効率化、スピードアップはIT投資の重要なテーマであり、効果も認めやすいが、製品・サービス開発領域については、IT投資のテーマとして投えられていない場合も多く、また効果も把握しにくいという状況が示されている。



■ ユーザー事例セッション

Session 1

「投資前に効果宣言！ビジネスへの効果をとことん考えるIT投資の決定・評価のしくみ」

講師：(株)JTB情報システム 執行役員／調達管理部長 伊藤 誠氏

IT投資の明確化と評価



●講演概要

IT投資の真の目的は「ビジネス／業務への効果」。その効果とは何か？いつまでに軌道に乗せたいのか？そのゴールが明確でなければ投資対効果は評価できません。JTBでは、システム投資前に評価の実施時期と内容を確認し、期待効果が認められないシステムについては縮小や停止を検討する、というルールを2012年4月から断行。システム投資の起案時点でIT部門などからなる「IT戦略委員会」とユーザー部門とが共に約1か月検討し、ゴールを明確化しています。「IT戦略委員会」の事務局運営に携わったご経験を交えてJTBのお取組みをご紹介します。

●講師略歴

1984年(株)日本交通公社(現(株)ジェイティービー)に入社、カードシステム、支店会計システム等の開発プロジェクトに関わり、基幹システム再構築プロジェクトに参画。2000年より(株)JTB情報システムに出向。国内旅行、海外旅行のシステム開発プロジェクト、ITSM推進役を担い、グループIT推進室長に着任、「IT戦略委員会」運営に携わる。その後、総務部門、営業部門を経て、現職に至る。

Session 2

(仮)「アサヒの攻めと守りのIT投資マネージメントについて」

講師：アサヒグループホールディングス(株) IT部門 ゼネラルマネージャー 知久 龍人氏

攻めと守りのIT投資マネージメント



●講演概要

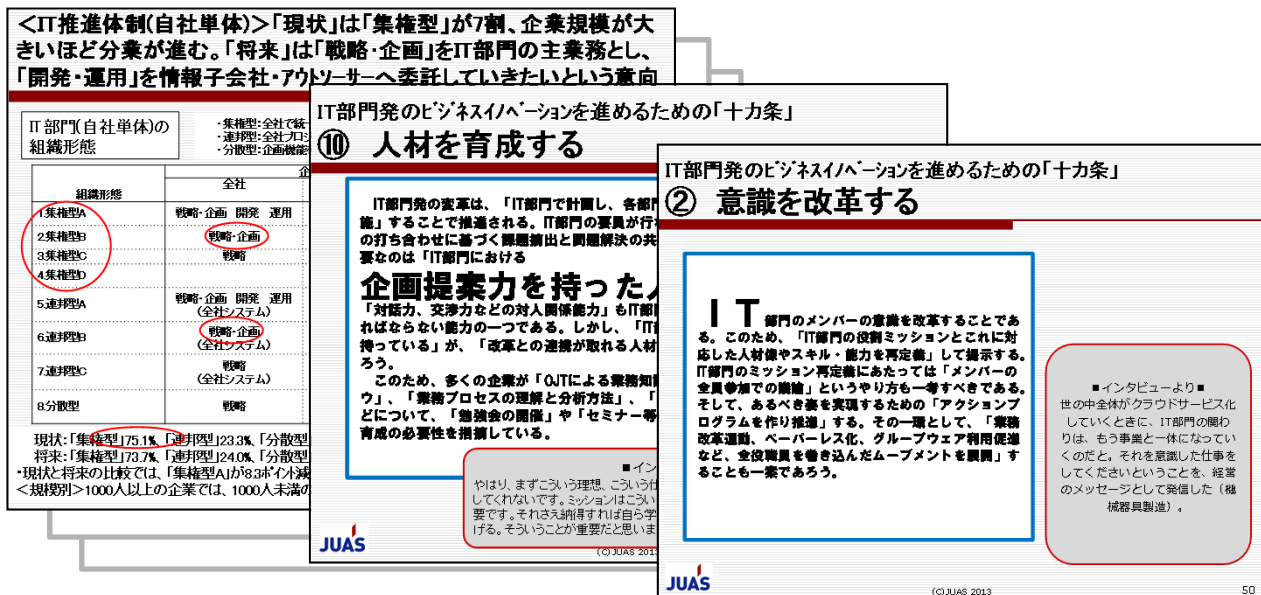
攻めのITとは、本来守りのITがしっかり実施されているからこそ、攻めに転じることができます。ITは半永久的に継続させるだけでお金がかかりますが、単に更新するだけではITもビジネスも発展がありません。一方、攻める一方でのIT投資はコスト負担になるばかりです。アサヒの攻めと守りのITとは、年次計画単位であらゆるコスト最適化施策を実行しながら、戦略的投資の効果として得られた削減原資を新たなITイノベーションに投資。結果、コストは削減傾向に向きながら、ITは最先端で発展させられます。このコスト戦略とIT戦略が一体となったトレードオフのコストマネージメントを実際に取り組んだ事例を交えながらご紹介いたします。

●講師

1986年アサヒ飲料(株)に入社。自社のシステム部門に所属してシステム全般に従事し、1995年に現在のアサヒビジネスソリューションズ(株)の前身となる情報子会社に出向。その後、2009年にアサヒビール(株)の情報システム部門に所属し、アサヒグループのIT全般のマネージメントを携わり、2011年にアサヒグループホールディングス(株)設立と同時に現職に至る。

第3回「IT推進組織とIT人材」

■ ユーザー企業動向の一例～「企業IT動向調査2015」より



■ ユーザー事例セッション

Session
1

「ANAにおける業務プロセス改革の推進」

講師:全日本空輸(株) 業務プロセス改革室 企画推進部長 河野 一郎氏

業務プロセスと組織再編



●講演概要

グローバルでの競争の中、取り巻く環境の変化に迅速に対応するには、ビジネスの根幹を支えるITにも同じスピードが必要です。業務プロセスを見直し、大胆なチャレンジを行うには、従来にはない新しい組織が求められます。全日本空輸のIT部門が、新しく業務プロセス改革室として強く生まれ変わる原動力となった組織再編の勘所と取り組みを、経営のコミットメントのあり方、コンシューマー目線での新たな取り組みなども交えて、ご紹介いただきます。

●講師略歴

1986年全日本空輸(株)入社。空港・営業・経理部門を経てANAセールス(株)設立プロジェクトに従事。2007年ニューヨーク支店総務マネジャー、2011年調達部副部長、2014年4月から現職。

Session
2

「激変するIT環境下、今求められるIT人材像とは?～「匠」から「プロデューサー」へ」

講師:三井住友カード(株) 常務執行役員 森 陽一氏

環境変化とIT人材



●講演概要

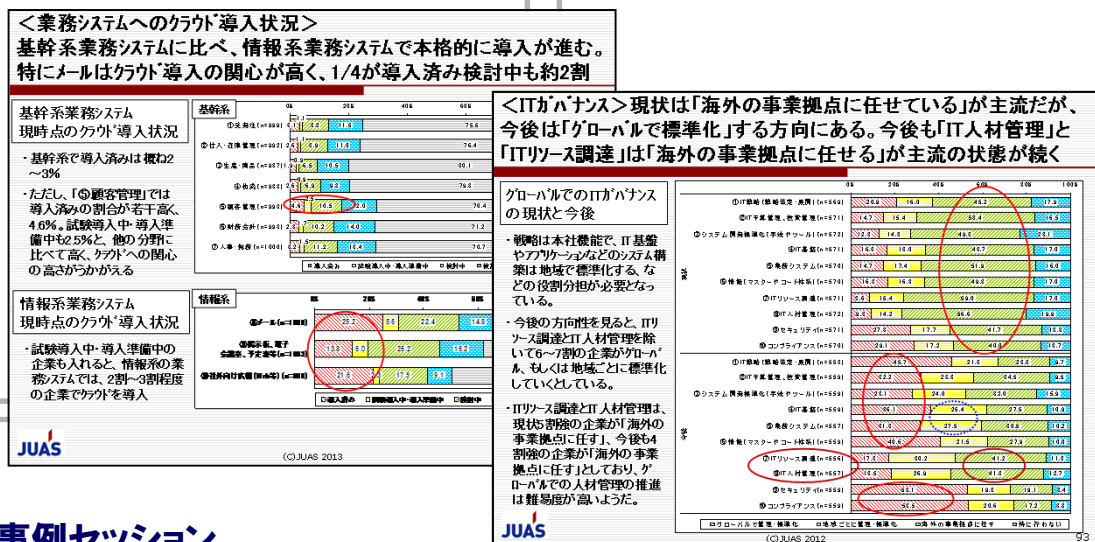
IT環境はテクノロジーの進化が激しく、テクノロジーそのものがビジネスを変える時代となっています。従って、未来を創造し、テクノロジーを使って新たなビジネス、あるいはビジネス手法を生み出せる人材が必要です。従来、システム開発には「棟梁」、「匠」、「参謀」、「目利き」などのスキルと人材が必要だと考えていました。しかし、環境変化が激しい今日では、新たなスキルとマインドが求められます。匠ではなく目利き、さらには「プロデューサー」として全方位的役割が求められる中、なおかつ従来の「モノづくり」マインドは失われないことが何よりも重要です。今回は、ご自身の想いを交えながら、今、求められるIT人材像をお話いただきます。

●講師略歴

1979年静岡大学 工学部 情報工学科卒業後、1982年日本情報サービス(株)(現(株)日本総合研究所)に入社。2006年、(株)日本総合研究所 執行役員を経て(株)日本総研ソリューションズ 執行役員に就任。2008年より三井住友カード(株)執行役員システム企画部長、2010年より同社常務執行役員 システム企画部長、2012年より同社常務執行役員システム本部長兼システムセキュリティ最高責任者、現在に至る。

第4回「システム運用・IT基盤」

■ ユーザー企業動向の一例～「企業IT動向調査2015」より



■ ユーザー事例セッション

Session 1

「さらなるシナジー創出を目指して～グローバル標準IT基盤の構築」
講師：(株)三菱ケミカルホールディングス 情報システム室長 板野 則弘 氏

グローバルIT基盤構築



●講演概要

三菱ケミカルホールディングスでは、グローバルでのアライアンスおよびM&Aを戦略的に推進してきました。その変化の中で更なるシナジー追及に向けて「世界標準」で利用できるグループ標準クラウド基盤の創出に取り組んでいます。欧米拠点に「日本仕様」を押し付けることなく日米欧3極の共同歩調によるプロジェクト体制を作り、結果としてITガバナンスが発現した活動事例をベースにお話をさせていただきます。インフラだけでなく、グローバルIT戦略を策定する際の課題と解決策について、一緒に考えたいと思います。

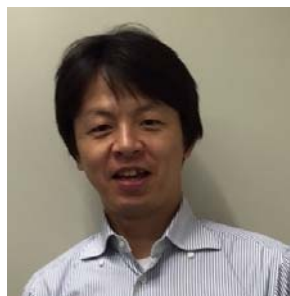
●講師略歴

1989年三菱化成(現三菱化学)入社。水島事業所にて、主にプラント自動化、設備管理システム構築、機器設計等に携わる。1996年生産技術の米国拠点を立ち上げる為、米国シリコンバレーに3年間駐在。帰国後、2000年三菱化学本社情報システム部に異動、ビジネスへのIT活用推進を担うとともに、石油化学工業協会にて5年間、化学業界の世界標準EDIの普及推進を行う。2012年三菱化学情報システム部長を経て、本年4月より現職。

Session 2

「(仮)運用付加価値向上がもたらすビジネス貢献」
講師：損保ジャパン日本興亜システムズ(株) 井場 隆史 氏

システム運用



●講演概要

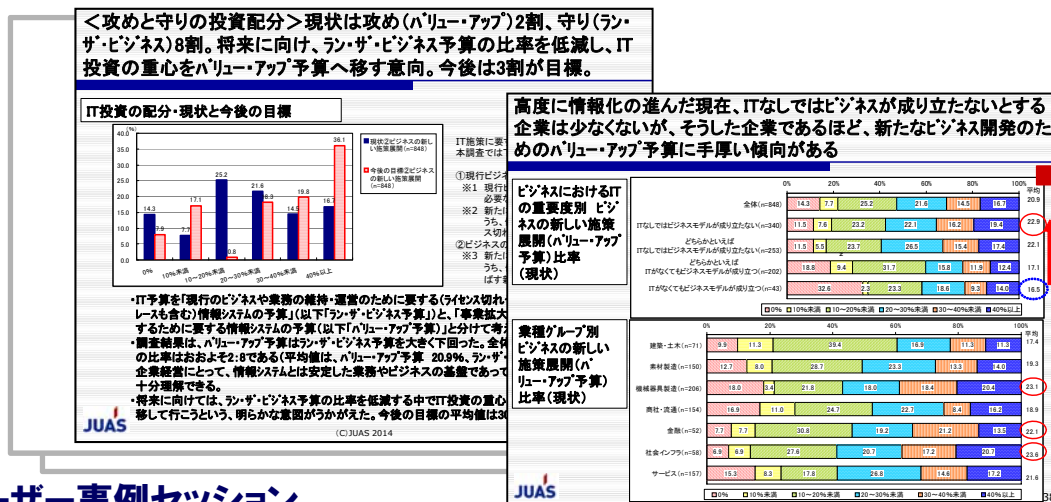
多様化するビジネスにおいて、ITサービスの重要性は増すばかりです。本講座では、システム基盤・インフラの安定稼働、運用品質向上、コスト削減といった経営の大きな関心ごとに対して、運用部門としてどのように付加価値を発揮できるかのアプローチについて、事例を交えてご紹介することで、みなさまの日常のマネジメントのヒントをつかんでいただきたいと思います。

●講師略歴

1990年安田火災海上(現損保ジャパン日本興亜)入社。システム基盤保守業務、コールセンターシステム開発などのプロジェクトを経て、2008年からITサービスマネージメントの導入に携わる。2014年から現職。

第5回「システム構築～経営戦略の実現」

■ ユーザー企業動向の一例～「企業IT動向調査2015」より



■ ユーザー事例セッション

自社の経営戦略・IT戦略を実現するシステムを開発するためのマネジメント（システムへの落とし込み・実現方法の選択、合目的性の評価等）について実例をご紹介します。

Session
1

「物流の改革」を実現せよ 宅急便の進化を支えるIT戦略

講師：ヤマト運輸（株） 情報システム部長 田中 従雅氏



●講演概要

「攻めのIT経営」「デジタル経営」、昨今、企業を成長させるキーワードとなっており、IT部門への期待も高まっております。その中で、ビジネスやテクノロジーの将来を見越して、自社なりのIT戦略をどう考えていくのか。2019年に創業100周年を迎えるヤマトグループは、サービスの投入と並んで、ビジネスを「押し上げる力」としての戦略的基幹システムの整備にもいち早く注力。74年から続く同社の基幹システム「NEKOシステム」は、現在第8次の構築が進行中です。その変遷の根底には、ビジネス変化を見通し、テクノロジーを先取りして、システムへと埋め込み新商品を開発してきた歴史が息づいています。そして今、クラウド化やスマートデバイスの活用、グローバル化が加速する中でどのような哲学を持ってインフラを創り上げていくのか。ヤマト流基幹システムの考え方の変遷と最新の取り組みを、ご経験と共にご紹介いただきます。

●講師略歴

1981年4月入社。1984年 11月16日に発生した世田谷ケーブル火災を機に発足した広域災害対策PJに参加、以後、広域災害対策に従事すると共にNEKOシステムの開発・運用に携わる。2011年4月より現職を担い、現在に至る。

経営戦略とIT戦略の一体化

Session
2

「ビジネス価値創造の追求～日産におけるグローバルIS/IT戦略、これまでと今後～」

講師：日産自動車（株） グローバル情報システム本部 理事 能丸 実氏



●講演概要

近年、企業を取り巻く環境は刻々と変化し、その変化のスピードは速くなるばかりです。日産自動車の中期経営計画達成のため、現在、IS/IT部門からのビジネス支援をミッションとしたグローバルIS/IT戦略「VITESSE」を強力に推進しています。フランス語で「速さ」を意味するVITESSE。モノづくり企業のIS/IT部門が、新たな価値を創造・提供し、経営戦略を実現する”攻めのIT”部門へ変わるための数々の困難な挑戦を行ってきたご自身のご経験を交えて、そのお取り組みをご紹介します。

●講師略歴

日産自動車入社後、生産技術開発に従事。1995年より情報システム本部へ異動し、システム開発、運用、企画統括の担当を経て、グローバル情報システム本部の本部長としてグローバル戦略立案、実行をグローバルにリードする。現在、同本部 理事として経営に貢献できるIS/ITを目指し、新たな挑戦に取り組んでいる。

ビジネス価値創造に貢献するIS/IT